

「風」「空気」「水」「光」をベースに事業展開

～70年にわたり「中津川精神」を受け継ぐ～



三菱電機株式会社 中津川製作所

所長

吉村 恒則氏

住 所：中津川市駒場町1-3

T E L：0573-66-2111

F A X：0573-66-9931

U R L：http://www.mitsubishielectric.co.jp/

事業内容：

電気機械器具製造業。主な製造品目：太陽光発電システム（太陽電池モジュール・パワーコンディショナ）、換気扇、換気空清機ロスナイ（住宅用）、全熱交換形換気機器「ロスナイ」（業務用・設備用）、ヒートポンプ式冷温水システム「エコヌクール」、業務用産業用換気送風機（有圧換気扇、空調用送風機、エアーカーテンなど）、ハンドライヤー「ジェットタオル」、喫煙用集塵・脱臭機「スモークダッシュ」、従業員数：約1,100人

■ 海外マーケットにも参入

聞き手：御社の事業の近況はいかがですか。

吉村所長：1943年に名古屋工場の疎開工場として事業をスタートさせ、1960年代には有圧換気扇、ダクト用換気扇を開発・発売し、「風の中津川」と呼ばれてきました。現在では、「風」「空気」「水」「光」の4つのキーワードをベースとして事業を展開しています。風の事業では、有圧換気扇が昨年、開発・発売から55周年を迎え、ダクト用換気扇は来年50周年を迎えます。空気の事業では、全熱交換形換気機器「ロスナイ」が2020年に50周年を迎えます。省エネの要求も高まっており、空調事業と連携しながら、国内をはじめ、国外でも販売を始めています。水の事業では、温水床暖房システムからスタートし、2002年からはヒートポンプ式温水床暖房システム「エコヌクール」を開発・発売しています。省エネに貢献し、将来性が高い商品であると考えています。光の事業は、1996年からスタートし、2013年にかけて大きなピークを迎えました。近年は電力の買取価格が下がり、市場は縮小傾向が続いていますが、政府は住宅を、省エネ性能の高い機器と太陽光発電システム等を用いて、一次エネルギーの消費量を正味ゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）化を進めており、ZEHのシステム提案を確実に進めていきたいと考えています。

聞き手：海外の展開はいかがですか。

吉村所長：換気送風機は国内では強いシェアを持っていますが、市場は飽和状態にあります。5年ほど前から、海外のマーケットへ参入を始めており、いま持っている製品のラ

インアップを海外に展開しながら、市場の要望を把握し、次のステージに移っていく計画です。換気扇事業は、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナムなどのアジア圏を中心に展開し、欧米ではロスナイやジェットタオルの販売拡大に力を入れています。

■ 小さく生んで大きく育てる

聞き手：2013年には創業70周年を迎えましたが、1943年の創業以来、大切にしていられる「中津川精神」についてお聞かせください。

吉村所長：中津川精神は伝統的に語り継がれています。中津川は「小さく生んで大きく育てる」という事業展開をしてきました。その中で、「一番手商法」は、狙った市場で一番になるということで、10年ほどかけて一つの大きな事業にできました。ロスナイ、ジェットタオルはその代表例です。また、「顧客志向」も大切にしています。設計者が営業部門とともにお客様を巡回し、直接、声を聞いて製品を生み出してきました。そのほか、仕事に熱意を持つことも大切にしています。中津川全体でチームとしてやっていくことが、この地域で仕事をしていくベースになると考えています。私自身、中津川出身ということで、中津川精神を継承しやすい立場にあると思います。新しい時代を迎えている中で、中津川精神をしっかりと従業員に伝えていきたいです。

聞き手：中津川が他の地域と比べて優れていると感じるところはありますか。

吉村所長：お客様への接し方が丁寧といえます。また、工場を案内する女性「ウエルレディー」は、お客様志向を体現

